



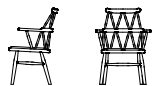
Truss back chair

Designed by Drill Design

17世紀のイギリスで生まれた木製椅子ウィンザーチェア。その後世界中に広がった数々の形式の中でも最も古いといわれているのが、「コムバック・ウィンザー (comb-back windsor)」です。水平の笠木からスポークが平行に並んだ背の形状が櫛 (comb) のようであることからその名がつけられ、この椅子が誕生した17世紀から現代まで世界各地で数々のコムバック・ウィンザーチェアがデザインされてきました。Truss back chairはその最も古い形式をベースに、より立体的な座り心地の椅子を目指してデザインされています。一番の特徴は斜めに差し込まれた印象的なスポークにあります。

アームのラインから上下に伸びる長さの異なるスポークが、並列ではなく斜めに差し込まれることで描かれる複合的なラインが、背中の方に寄りそう立体的なシェルを形成しています。スポークが三角形のトラス配置になっていることで緩みを防ぎ、剛性と強度の高いプロダクトになっています。そして軽量であることもこの椅子の大きな特徴です。ゆったりとした存在でありながら、構造的に軽量化の工夫を施しています。素材には比重が軽く強度のある日本の栗材を使用しています。その優美な木目と他にはない色の美しさも栗材を採用した大きな理由のひとつです。

Truss back chair



DD-019 アームチェア

W630×D560×H877×SH438×AH648

栗

F1 203,500 (185,000)

F2 207,900 (189,000)

L1 224,400 (204,000)

L2 231,000 (210,000)

TIME & STYLE

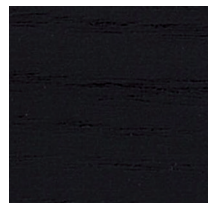
W (幅)
D (奥行)
H (高さ)
SH (シート高)
AH (アーム高)

寸法単位：mm

価格は日本円
() は税抜き価格



栗
クリア



栗
ブラック